



アマチュアのニーズに 応える小型工作機械

工作機械も低価格化が進み、小型のものは10万円台で買えるようになったが、購入する際、カタログだけでは不安が残る。実際に動かしてみて、じっくり機械が選べるのがメーカーのショールームだ。



小型旋盤FL-350E。ベッド上振り180mm、クロススライド上振り100mm、芯間350mm、主軸回転100～2500rpm。小型の鉄道模型だけなら、このクラスで十分に思い通りの部品ができる。標準セットは18万円（税・送料込み）



同社で最も小型な旋盤FL-260E。基本性能はFL-350Eと同じだが、芯間が100mm短い250mmの省スペース型。価格はフルセットで16万円（税・送料込み）

寿貿易のショールームを訪ねて

実際に動かしてみる

工作をするときに、どうしても既製の部品ではびったりしないことがある。特に鉄道模型は、スケールモデルではディテールがゆるがせにできないし、どのゲージにも部品が揃っているわけではないから、自作するには機械加工を避けて通るわけにはいかない。

そこで旋盤やフライス盤などの工作機械を導入することになるのだが、なかなか簡単にはいかない。機械は大きくて重く、切り粉や油污れ、騒音で家族に気兼ねしなければならぬ。それに、小型と言っても、やはり安い買い物ではない。

購入前に納得できるまで機械を前にして説明を聞く。寿貿易のショールームはそのためのスペースだ。

輸入品を調整して販売

小型の旋盤やフライス盤などを販売する寿貿易は、昭和13（一九三八）年に創業した小型形削盤専門メーカー・札幌工作機械製作所（現在は組織を改編して株式会社メカニクス）の製品を販売するために昭和35（一九六〇）年に設立された。今では、メカニクス製品は少なく、輸入品の販売が中心になっているが、ただ輸入したものを販売しているわけではない。品質はよくなったが、中国製などの工作機械の精度や電装部品の信頼度には不



卓上フライス盤FM-100。軸端—テーブル間は250mm、フトコ口160mm、テーブル380×92mm、左右（長手）送り228mm、クロス（前後）送り88mmで角度付きの加工もできる。モーターは1/2HP。標準セットは税・送料込みで185,000円。各種のエンドミルなどの付属機器も販売している



ショールームは地下鉄門前仲町駅、茅場町駅、水天宮前駅からそれぞれ10分内外、隅田川に近いビルの1階。土曜日は特に混みあうので、できれば電話予約したい。来店特典も用意されている

寿貿易（株）

営業時間：月～土曜日9時～17時（祝祭日は除く）

〒135-0031 東京都江東区佐賀1-11-11 TEL03-3642-3095

<http://www.kotobuki-mecanix.co.jp/>

加工を試してみたいワークの持ち込みもできるので、機械が自分の要求に応えるか判断しやすい。



アマチュア向けの小型機械の草分けである寿貿易は、アマチュアの工作に対するニーズを確実につかんでおり、購入に際してのさまざまな相談にも応じることができる石黒聡一社長をはじめスタッフは初心者にとって心強いアドバイザーだ

安が残る。寿貿易では、輸入したもののそのまま売るのではなく、一度メカニクスの工場（北海道）に送って、調整あるいは部品交換をしてから販売する。輸送費をはじめとする費用がかかるので、ほかの販売店とは価格の点で不利ではあるが、いったん調整してあるという安心感は大い。買って据え付けた後で動作がおかしいことに気付くということも防止

できるし、調整が完全であれば、工作物の精度も上がる。同社では、完全調整済みもAタイプ、最小限の調整だけのものをBタイプとして、価格差を付けて販売しているし、超特価品として10万円以下の製品も扱っている。しかし、Aクラスの安心感は費用には代えがたいし、お金を出しただけのメリットはあるはずだ。

将来を見据えて機械を選ぶ

ショールームには、常に何台かのデモ機が動くように準備されている。ここで機械を動かしてみても確かめるのだが、意外に重要なのは運転の際の音。

作業している本人には心地よい機械音でも、家人や近隣には騒音にしか聞こえないことがある。これを事前に確認するために、家族を連れてくる人も多い。音は主観的で、家の材質などにも左右されるので、ショールームでは納得しても、自宅ではうるさく感じるといえることはないわけではないが、事前に確認できるのは、トラブル回避に役立っている。

機械を選ぶ際は、作業場などの制約がなければ大きなものを選んだほうがいい。機械に慣れ親しんで腕が上がってくると、どうしても大きなもの、複雑なもの、精密なものが作りたくなってくる。小さいものを買って、後で買い替えるより、最初にワンランク上の機種を買ったほうが、長い目で見ると節約にもなる。また、大きい機械のほうが操作が容易で、入門者に向いている。

自分が将来どんなワークを扱うかを考えながら購入することができるのもショールームならではだ。実際に機械を動かしてみると、いつか作りたいと思っという「夢の模型」のイメージが、よりいっそう具体的になってくることだろう。

（末永昭二）